

1 経営方針

教育目標：長洲愛・高めあい 教育文化あふれる長洲中の創造

- 1 校長を中心とした指導体制のもと知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を図る。
- 2 教職員としての使命感と授業力・指導力の向上を図る。
- 3 教育課程の実施において、教育活動の量的確保と質的改善を図る。
- 4 コミュニティ・スクールの推進に努め、体験活動を通して心豊かな生徒の育成を図る。
- 5 教育の場にふさわしい環境づくりを図る。

2 努力点

○確かな学力の育成・・・基礎基本の定着、自ら学ぶ態度の育成
 ○互いに支え、高めあう集団の育成・・・生徒会活動・学級活動の活性化、いじめ、不登校の未然防止・早期対応・早期解消、さわやかなあいさつができる学校づくり
 ○健全な体の育成と学習環境の整備・充実・・・地域行事へ積極的参加

◎評定基準 A・・・【十分適切である】、B・・・【おおむね適切である】、C・・・【課題がある】、D・・・【課題が多く速やかな改善が必要】

3 自己評価結果

分野・領域		評価項目	主な取組状況	達成状況	評価	後期の改善方針	評価	長洲中をより一層よくする会		
								評価	意見等	
教育目標	学校は、教育目標や方針を保護者や地域にわかりやすく伝えているか	授業参観やPTAの各種行事で説明をするともに、学校便り、各学級便り、HP等で周知を図った。	教育目標や生徒の活躍の様子等、学校便りやHPで周知を図ることができた。特にHPは11万回のアカウント数で多くの人たちが見ている。行事ごとに職員間の意見を交換し、より効率化させながら取り組むことができた。	A	行事写真等を活用し、各便りやHPの充実を更に図る。指導計画書等の活用及び改善を図る。	A	行事写真等を更に徹底し、組織として行動する。	A	HPアカウント数の11万回はすごい。最新話題の更新を今後とも続けてほしい。また、先生たちは、一丸となって教育に取り組まれていると思う。	
	長洲中の組織の一員として、教育活動に取り組んでいるか									
学習指導	生徒が共働・協調する能動的授業を行っているか	豊かなかわり合いのある言語活動や学びの振り返りの充実を図る。また、教室に入れない生徒への対応や夏期休業中や放課後などの個別指導を行う。	職員全員が、授業改善に取り組むとともに、生徒による授業研究会を実施して、生徒自身が授業に取り組む態度を向上させた。また、教室に入れない生徒に対応する職員を位置づけ、対応を図った。国数英の基礎基本徹底週間を朝自習に位置づけ、個別指導の充実も図った。	B	生徒による授業研究会などを通して、生徒の学習意欲の向上を図る。	A	授業改善の工夫に研究組織全体で取り組む。	B	不登校生徒などへの学習内容の定着と個別の指導の充実をお願いしたい。また、学び合いについては、教科により、取り組み方の違いがあるのかもしれない。今後の課題としてBとする。	
	反復学習や再テストなど基礎・基本の徹底指導ができていますか									
学校行事	一人一人の努力や能力に応じた評価を行っているか	生徒を主体とした行事になるよう事前の準備や、努力したり、協力したりする時間と場を確保するように努めている。声かけなどを通して各行事を成功に導くよう支援する。	3年生の「リガ-アップ」を活かしながら、行事の運営をすることができた。特に体育大会や文化学習発表会では、各学年・学級ごとに計画的かつ意欲を持って取り組み保護者や地域から賞賛の声をいただいた。	A	今後とも生徒リーダーを中心に、全生徒が動ける体制を整えるとともに、より充実した取組となるようにする。	A		A	三年生を中心とした取り組み方など指導が活きていて、体育大会や合唱コンクールなどたいへん見応えがある。	
	体育大会や文化・学習発表会などの学校行事を、充実させているか									
生徒指導	学校や社会のルールやマナーを守る態度を育てているか	生徒指導努力事項の共通理解	年度当初に生徒指導集会を開催し、全生徒への一貫した指導を行った。また、職員が一丸となって各事案に取り組み、即時対応に努めた。教室には入れない生徒に対しては、専門機関との連携を図りながら支援を図った。	A	生徒指導部を中心に一丸となり、専門機関との連携を図りながら全生徒への支援を続けていく。生徒指導集会の活用と情報モラル等の啓発活動も工夫して進める。	B		A	学校としてはできる限り対応してほしい。不登校には学校単独の取組では対応が難しい。家庭へのケアが要るのではないかな。	
	携帯電話やインターネットのルールやマナーを守る態度を育てているか	生徒会情報モラルルールの保護者への啓発および生徒の指導								
人権教育	子どもへのやさしさを理解しようとしているか	心アンケートや教育相談の実施								
	いじめや差別のない集団づくりを行っているか	学級や学年での取組、心のアンケート	日程等を工夫しながら生徒に向き合う時間を確保している。また、家庭訪問を担当だけでなく、主任、養護教諭等複数で行い、学校全体で不登校傾向の生徒へ対応している。	A	人権教育に関する講演会、公開授業を実施する。いじめは必ず起こるものという認識のもと、早期発見と丁寧で素早い対応を行うことを更に徹底する。	A		A	いじめは必ず起こるものという態度で取り組むのはいい。防止と共に早期発見に努めるとともに、生徒一人一人に居場所と充実感を与えていってほしい。	
道徳・心の教育	生徒や保護者からの相談に対して、すぐに対応しているか	学級、学校便りでの啓発								
	道徳の授業をきちんと行っているか（担任のみ）	対話的で深い学びとなるような授業の改善及び実践	講演会や職場体験、AHS活動	学習指導要領の改訂に伴い、総則、道徳科、特別活動、総合的な学習などについて復講を行い、共通理解を深めた。生徒会中心に挨拶運動やボランティア活動の充実を図ることができた。	B	道徳の教科化に対する校内研修とローテーション授業を充実させる。	A	生徒会を中心とした挨拶運動やボランティア活動の充実を図る。	B	朝の挨拶運動で頑張っている姿をよく見かける。また、道徳の授業もきちんとされていると思うが、更に生徒の道徳性を育ててほしい。
教育環境	自分から挨拶ができる態度を育てているか									
	掃除や整理整頓が行き届いた、美しい環境を整備しているか	無音清掃、縦割りによる掃除班	掃除リーダーを中心に生徒全員で無音清掃に取り組むことができた。授業中の言語環境の改善も生徒による授業研究会を通して行った。	A	掃除リーダーの育成と隅々まで掃除に取り組む態度を養う。	A	言語活動の充実については授業改善と合わせ、学校全体の言語環境を整えていく。	A	校長先生をはじめ、生徒が朝から清掃活動をしていて頑張っている。挨拶についても、ものすごくはきはきとしていて、10年前の生徒より今の中学生が良いと思う。	
安全管理	望ましい言語環境を整えているか	授業中の言語活動の充実								
	交通事故防止や不審者対策など、子どもたちの安全対策を行っているか	交通安全、避難訓練（火事、地震津波、不審者）等、安全教育の充実を図る。	交通安全や避難訓練を実施し、月1回の安全点検日を設け安全管理に努めることができ、修繕等すぐに対応した。情報管理は職員で共通実践を続けている。	A	防災主任を中心として、生徒や職員の危機管理意識を向上のため、地域協働避難訓練をはじめ、より現実的な避難訓練を実施する。	A	安全点検や個人情報の管理についても確実に実施する。	A	良くできているが、防災訓練の改善点はないかという視点で話し合い、更に充実させてほしい。	
保健管理	月に一度の安全点検をきちんと行っているか	地域協働避難訓練の実施								
	個人情報管理をきちんと行っているか									
保護者・地域住民との連携	体力向上に向けての取り組みを行っているか	教科体育を中心に体力作りを行う。	教科体育や部活動等で体力向上を図ることができた。食育や健康に対する意識づけにも取り組むことができた。	A	今後とも体力向上や健康管理に関する意識向上に向けた取り組みを進めていく。	A	養護教諭を中心にフットボールの準備を行う。	A	朝の陸上練習など体力向上の取組は良くやられていると思う。	
	家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めているか	部活動や中体連陸上に向けた取組								
情報の公開・発信	家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めているか	家庭訪問、PTA活動、学年PTA、親子美化作業、資源物回収、AHS活動、職場体験学習、地域行事への参加など充実した取組ができた。	PTAの各係活動が充実し、行事等で保護者の参加や協力が活発である。地域行事としては、のしこら祭や町の行事での吹奏楽部演奏、ボランティア活動など地域行事に積極的に協力できた。	A	定例の役員会の充実を図り、保護者の意見の集約に努める。	A	今後とも地域行事への協力とともに、職場体験学習など地域コーディネーターとの連携を密にする。	A	PTAの資源物回収も昨年以上の収入を得たり、前PTA会長の田成さんが地域コーディネーターとして学校と地域をうまくつないでくれている。	
	保護者や地域の相談などに適切に対応しているか									
キャリア教育	各種便りやホームページで、保護者や地域に教育活動の様子を知らせているか	学校、学級、保健、図書便り等の発行	安心安全メールの活用	長洲中学校ホームページを更に充実させると共に、学校便りをはじめ、各種通信を充実させ、安心安全メールの活用を進める。	A			A	安全・安心メールで長洲中のHPを普及するなど、今後も広めていってほしい。	
	進路に関する情報をわかりやすく知らせているか	職場訪問(1年)職場体験学習(2年)高校体験入学(3年)、校内高校説明会、夢の教室、立志式	各学年とも総合的な学習により、進路学習や職業について学ぶとともに地域の協力、町の株-トにより生徒は、たくさん経験ができ、将来の進路への関心を高めることができつつある。	B	各学年で、自分の進路についての適切な学習や情報の提供を行う。	B	生徒に夢や目標を考えさせる機会と場を増やす。	B	立志式で生徒の決意を書いた短冊を冊子にして配る予定だが、保護者が自分の子どもと夢や希望を語るきっかけとしてほしい。	
部活動	生徒に望ましい職業観や労働観を育む指導を行っているか									
	適な部活動の組織と運営を行っているか	部活動終了時刻を見直し、下校時間を早めながらも、外部指導者とともに適切な指導を実施した。	ノ一部活動デーの実施、下校時刻の改訂と遵守	A	部活動終了時刻の厳守と下校時の安全対策を充実させる。	A		A	部活動の終了時間の見直しも今後には必要となってくるのではないかな。	
不祥事防止	不祥事防止を常に意識して行動できているか	不祥事新聞報道の周知	懇親会等確認表の記入	職員全員が、自身の職責の重さを痛感し、不祥事を起こしてはならないという気持ちを高めるための研修を行った。	A	今後とも校内研修等での不祥事防止研修の充実を図り、絶対に不祥事を起こしてはならないという意識を共有する。	A		A	今後とも自覚と誇りを持って、生徒や保護者の信頼を守ってほしい。